

2025年3月期 決算説明資料

水をつなぐ
S A N E I 株式会社

証券コード：6230
(東京証券取引所 スタンダード市場)

2025年5月23日

SUTTO

SANEI
1. 実績



2025年3月期は過去最高の売上高を更新

売上高

28,465 百万円

前期より増収

+ 933百万円(+ 3.4%)
前期：(27,532百万円)

計画より減

△ 35百万円(△ 0.1%)
期初業績予想(28,500百万円)

営業利益

1,883 百万円

前期より減益

△ 91百万円(△ 4.6%)
前期：(1,975百万円)

計画より減

△ 157百万円(△ 7.7%)
期初業績予想(2,040百万円)

親会社株主に帰属する

当期純利益

1,254 百万円

△ 94百万円(△ 7.0%)
前期：(1,348百万円)

△ 146百万円(△ 10.4%)
期初業績予想(1,400百万円)

- 高機能シャワーなど、高付加価値製品が好調。
- 為替の変動などにより原材料費は上昇しましたが、価格の見直しなどで対応。
- 工場の増改築や周年行事など一時的な支出が増加し減益。

2 損益の概要

- 高機能・高付加価値製品の売上増加や販売価格改定の浸透などにより、**売上高は+3.4%の増収。**
- 一方で、工場の増改築や周年行事など一時的な支出が増加し、**親会社株主に帰属する当期純利益は前年より△7.0%の減益。**

(単位：百万円)

	2024年3月期		2025年3月期		前年 増減	前年 増減率
	年間	売上高 比率	年間	売上高 比率		
売上高	27,532		28,465		+933	+3.4%
売上総利益	8,629	31.3%	8,942	31.4%	+313	+3.6%
営業利益	1,975	7.2%	1,883	6.6%	△91	△4.6%
経常利益	1,973	7.2%	1,842	6.5%	△131	△6.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,348	4.9%	1,254	4.4%	△94	△7.0%
1株当たり当期純利益	294円56銭		274円03銭			

(注)当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

③ 四半期業績の推移

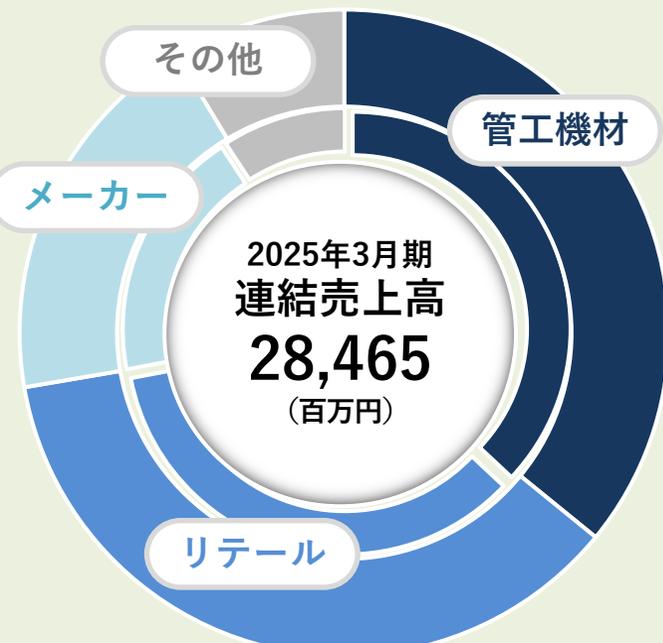
- 売上は価格改定などが浸透し、年間を通して堅調に推移。
- 営業利益は第2四半期に創業70周年行事など一時的な支出が増加し減益となりました。

(単位：百万円)

前期 2024年3月期	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
売上高	6,811	6,358	7,194	7,167	27,532
年間売上構成比	24.7%	23.1%	26.1%	26.0%	100%
累計	6,811	13,170	20,364	27,532	
累計進捗率	24.7%	47.8%	74.0%	100.0%	
営業利益	296	446	730	501	1,975
年間営業利益構成比	15.0%	22.6%	37.0%	25.4%	100%
累計	296	743	1,473	1,975	
累計進捗率	15.0%	37.6%	74.6%	100.0%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	209	276	485	377	1,348
年間純利益構成比	15.5%	20.5%	36.0%	28.0%	100%
累計	209	485	971	1,348	
累計進捗率	15.5%	36.0%	72.0%	100.0%	

当期 2025年3月期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	6,786	6,795	7,576	7,307	28,465
年間売上構成比	23.8%	23.9%	26.6%	25.7%	100%
累計	6,786	13,581	21,157	28,465	
累計進捗率	23.8%	47.7%	74.3%	100.0%	
営業利益	410	252	678	542	1,883
年間営業利益構成比	21.8%	13.4%	36.0%	28.8%	100%
累計	410	662	1,341	1,883	
累計進捗率	21.8%	35.2%	71.2%	100.0%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	299	169	444	340	1,254
年間純利益構成比	23.9%	13.5%	35.5%	27.1%	100%
累計	299	469	914	1,254	
累計進捗率	23.9%	37.4%	72.9%	100.0%	

4 販売ルート別の概況



販売ルート別 売上構成
(外円：当期／内円：前期)

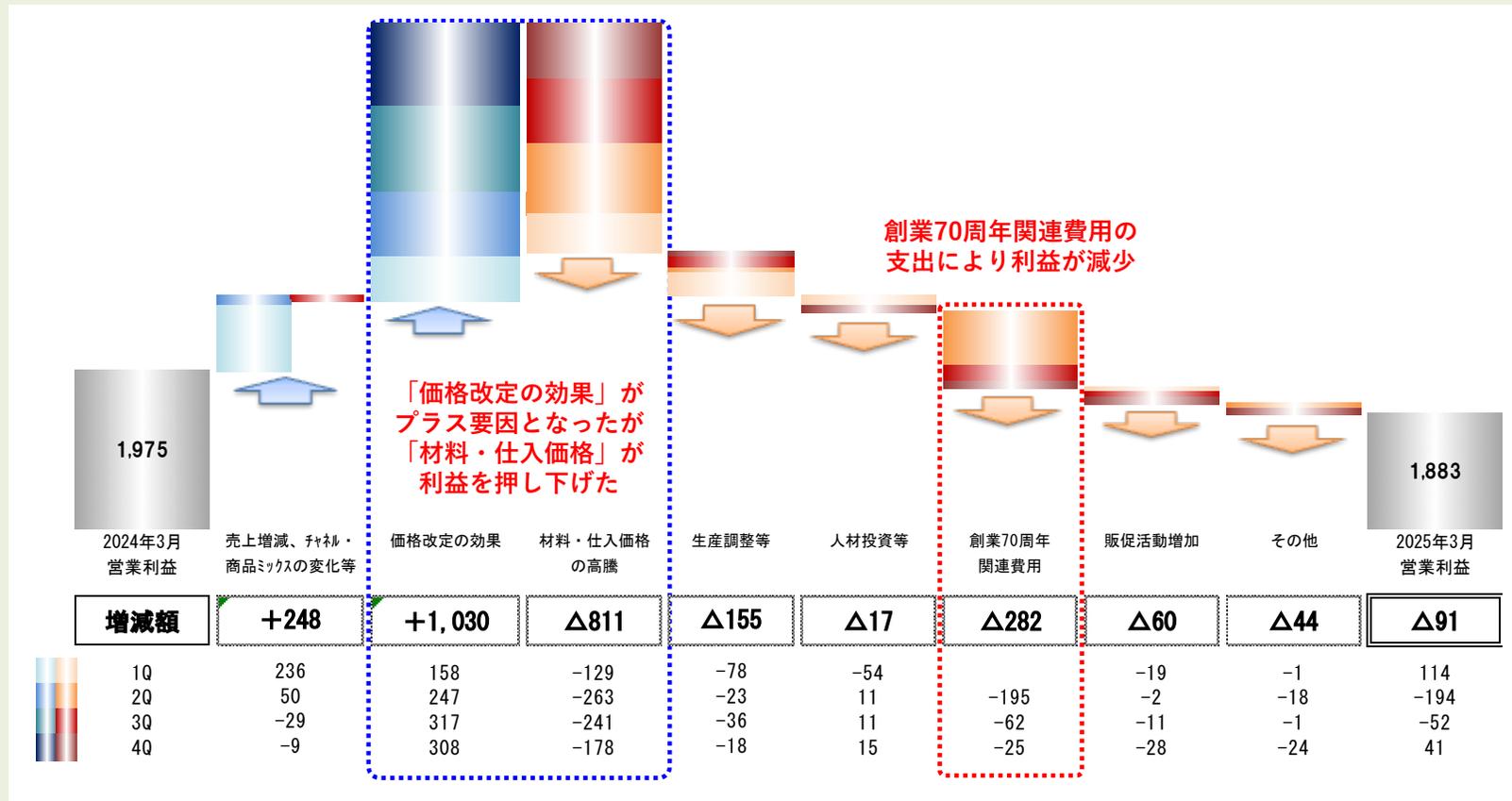
	前期 増減	
管工機材	→	非住宅市場を中心に採用案件が増加しました。しかし、住宅市場全体の落ち込みが影響し売上は横ばいにとどまりました。
リテール	↗	EC市場、ホームセンター市場の売上が好調。ウルトラファインバブルをはじめとした高機能シャワー製品が好調でした。
メーカー	↗	前期に引き続き住設メーカー向け標準採用用品を中心として好調な売上。新規の標準採用も増加しました。

5 営業利益の増減要因

前期増減 △91百万円の内訳

- 「価格改定の効果」は年間を通してプラス要因となった。「材料・仕入価格の高騰」は、前期から高止まりの状態が継続しており、利益を押し下げる要因となった。
- 創業70周年関連費用の支出により利益が減少。

(単位：百万円)



⑥ 連結BS（資産・負債・純資産）

- 生産調整を行ったことにより棚卸資産が減少。
- 岐阜工場の増改築などにより、固定資産が増加。

（単位：百万円）

		2024年 3月末	2025年 3月末	前期末 増減	主な要因
資 産	流 動 資 産	15,858	15,618	△240	・棚卸資産 △888 ・売上債権 +628
	固 定 資 産	8,359	8,748	+389	・建物及び構築物 +561
資 産	合 計	24,218	24,366	+148	
負 債	流 動 負 債	7,514	6,976	△538	・仕入債務 △303 ・未払法人税等 △206
	固 定 負 債	2,975	2,701	△274	・長期借入金 △225
負 債	合 計	10,490	9,677	△813	
純 資 産	合 計	13,727	14,689	+961	・当期純利益 +1,254 ・剰余金の配当 △272
負 債 純 資 産	合 計	24,218	24,366	+148	

⑦ 連結キャッシュフロー

SANEI

(単位：百万円)

	2024年 3月期	2025年 3月期	前期末 増減	主な要因
期首残高	2,247	1,497	△750	
営業C/F	331	1,679	+1,348	税金等調整前当期純利益 +1,822 売上債権の増加 △628 棚卸資産の減少 +906 仕入債務の減少 △303 法人税等の支払額 △812
投資C/F	△1,126	△1,357	+231	有形固定資産の取得による支出 △1,236 主に岐阜工場の建替工事に関連する 費用支払のため。
財務C/F	40	△363	△403	配当金の支払額 △272
その他	△5	5	+10	
期末残高	1,497	1,453	△44	

SANEI

2. 企業価値
向上への取組



YORI
SUTTO

⑧ 2026年3月期 連結業績予想

SANEI

(単位：百万円)

	2025年3月期 実績			2026年3月期 業績予想				
	2 Q 累計	年間	売上高 比率	2 Q 累計	年間	売上高 比率	前年 増減	前年 増減率
売上高	13,950	28,465		14,500	30,000		+1,535	+5.4%
営業利益	990	1,883	6.6%	950	2,200	7.3%	+317	+16.8%
経常利益	990	1,842	6.5%	950	2,200	7.3%	+358	+19.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	680	1,254	4.4%	650	1,450	4.8%	+196	+15.6%
1株当たり当期純利益		274円03銭			316円73銭			

9 株主還元（配当実績・計画）

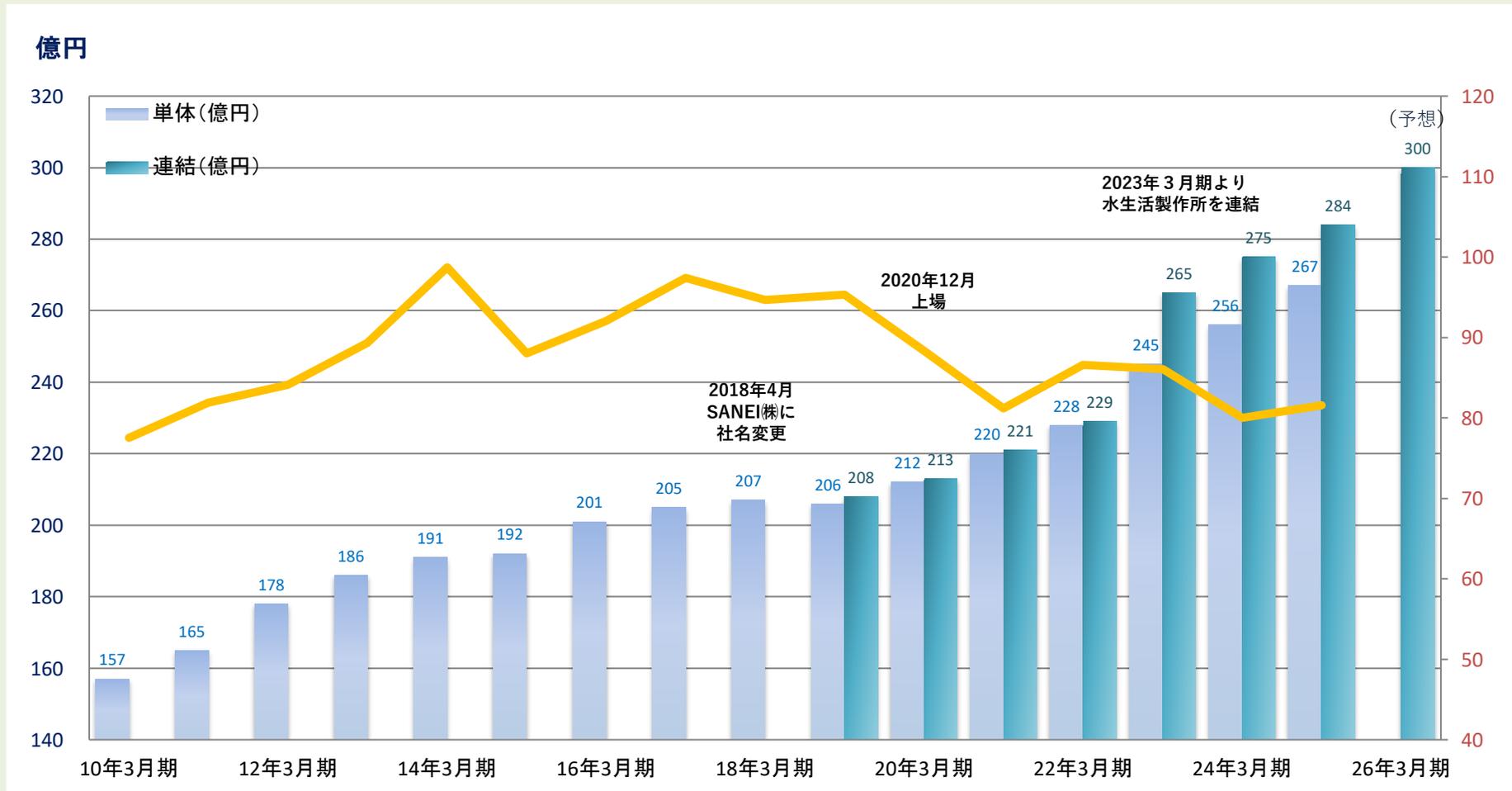
2026年3月期は年間64円の配当を予定。（前期より4円増・10年連続増配）
将来にわたり安定的な配当を実施するため累進配当を採用しております。
今後も長期、継続的な増配をめざします。

累進配当の実績(株式分割後を基準に換算)

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)
	中間 円 銭	期末 円 銭	合計 円 銭		
2021年3月期	15.00	22.50	37.50	161百万円	15.3%
2022年3月期	22.50	23.50	46.00	210百万円	21.1%
2023年3月期	24.00	24.00	48.00	219百万円	34.9%
2024年3月期	24.50	29.50	54.00	247百万円	18.3%
2025年3月期	30.00	30.00	60.00	274百万円	21.9%
2026年3月期（予想）	32.00	32.00	64.00	292百万円	20.2%

2024年10月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。
上記表では2021年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

- 新設住宅着工戸数が減少傾向にある中、売上は単体・連結ともに継続的に成長



売上高・収益性の向上（事業領域の拡大）

- 「水をつなぐ」SANEIブランドの更なる向上
～意匠、仕上げ精度、使用感、すべてにおいて最上級に相応しいものづくりへの挑戦～
- 水まわりにおける住空間をインсталレーション提案できる事業展開
～当社製品と他業種との協業・コラボレーション等によるラインナップの充実～
- 宿泊施設・飲食店・介護医療・公共施設など非住宅市場におけるシェア拡大

継続的な株主価値の向上

- 累進配当を宣言し、安定的な配当と長期・継続的な増配を目指す
～2026年3月期は10年連続増配の予定～

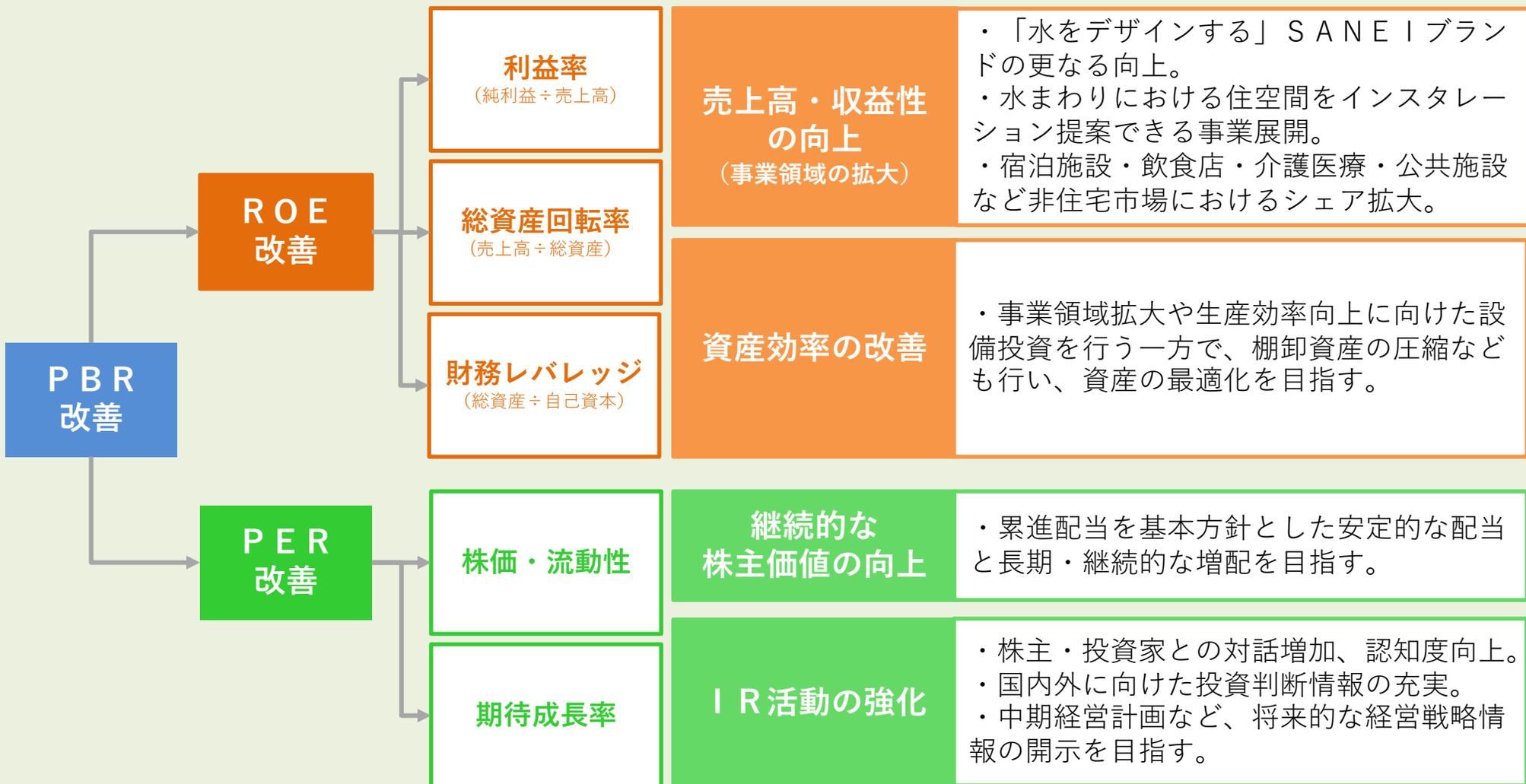


12 企業価値の現状分析（各指標の推移）

		21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期
P B R	倍	0.61	0.65	0.55	0.75	0.64
R O E	%	10.3	9.2	5.4	10.8	9.2
当期純利益率	%	4.5	4.3	2.4	4.9	4.4
総資産回転率	回	1.1	1.0	1.1	1.1	1.2
財務レバレッジ	倍	1.9	2.0	2.0	1.8	1.7
P E R	倍	5.9	7.1	10.1	6.9	7.0
期末株価（終値）	円	1,440	1,540	1,390	2,038	1,923
1株当たり純利益	円	244.97	218.31	137.70	294.57	274.03
売上高	百万円	22,182	22,999	26,564	27,532	28,465
親株当期純利益	百万円	1,000	999	630	1,348	1,254
純資産	百万円	10,500	11,952	12,495	13,727	14,689
総資産	百万円	19,459	22,467	23,455	24,218	24,366
1株当たり配当金	円	37.5	46.0	48.0	54.0	60.0
うち、中間配当	円	15.0	22.5	24.0	24.5	30.0
うち、期末配当	円	22.5	23.5	24.0	29.5	30.0

◆ 過年度分の期末株価及び1株当たり数値は全て、株式分割後を基準に換算しております。

- 株式の流動性を高めながら、PBR 1倍以上の株価水準を目指す。
- ROEは事業領域の拡大や収益性の向上を目指す



■ 「大阪・関西万博」の会場整備参加にブロンズパートナーとして協賛 ～宿泊施設・飲食店・介護医療・公共施設など非住宅市場におけるシェア拡大～

「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」の会場整備にブロンズパートナーとして参加しています。ご来場の皆様が快適に過ごしていただけるよう、「大屋根リング」や会場内に多数ある「休憩所」「トイレ」などの手洗い施設に水栓を提供しました。会場にお越しの際はご注目ください。



東ゲート付近のお手洗い



設計者:小林 広美 + 大野 宏 + 竹村 優里佳

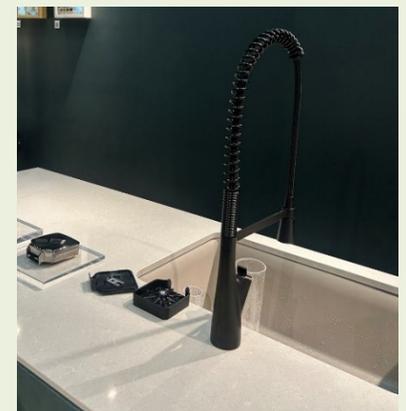


協賛商品の一部

■ 昨年発表した予洗い水栓「プレパシュ+」が好評。 ウルトラファインバブル機能付きシャワーや洗濯機水栓も売れています。



コップなどを簡単に洗い流すことができる予洗い水栓「プレパシュ+」が昨年に続き今年もカラーバリエーションを増やして「建築建材展」に出展しました。この見慣れない水栓に来場者様は興味津々。実際に体感していただくと驚きの声！



2025建築建材展「プレパシュ+」展示の様子

SANEI
補足資料



社名	SANEI 株式会社
事業内容	給水栓・給排水金具・継手および配管部材の製造・販売
創業	1954年（昭和29年）9月
代表者	代表取締役社長 西岡 利明
本社	大阪市東成区玉津1丁目12番29号
資本金	432百万円 ※2025年3月末時点
連結業績	売上高：28,465百万円 経常利益：1,842百万円 ※2025年3月期
従業員	連結： 845名 単体： 642名 ※2025年3月末時点
グループ会社	株式会社アクアエンジニアリング 大連三栄水栓有限公司 株式会社水生活製作所

社是

「人類ある限り水は必要である」との理念のもと
人間の乾きを潤す水まわりを中心に
生活の泉、憩の泉の想像を実現する事で
社会に貢献し会社繁栄と全社員の幸福の源とする

企業行動憲章

SANEIグループは、「人類ある限り水は必要である」との理念のもと、健全な事業活動を通じ、水まわりから快適な暮らしを提供する事で、広く社会に信頼される存在であり続けたいと考えています。

そのためには、社員一人一人が、
自発的に行動しながらも礼節を重んじ協調性をもって日々最善を尽くす事、
また、関係法令を遵守し高い企業倫理を持ち自然環境に配慮し
地域社会の一員としての社会的責任を果たす事を大切にしています。

人に喜ばれる事、人に感謝される事、人と共にできる事、人を感動させる事、
こういった取り組みの積み重ねが、
社員はじめSANEIに関わる多くの方々の幸福の源となるよう、取り組んでいます。

「点」としての始まり

* 水栓単体の「点」の販売

1954
(創業)

自社ブランドによる
水栓金具メーカー

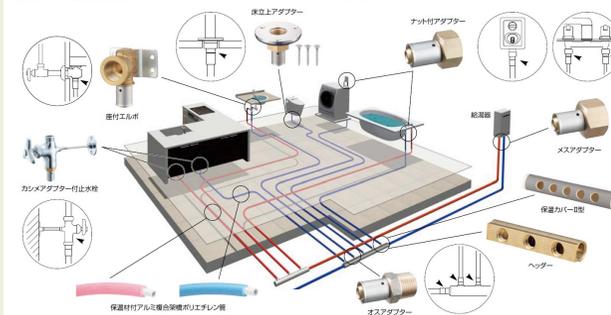
「点」から「線」へ

* 水道メーター以降、蛇口までの水道インフラ
全体をカバーするモノづくりを推進

1980

水栓メーカーとして確固たる地位の確立

給水・給湯用アルミミックスパイプ(一般タイプ)



「線」から「面」へ

* キッチンルーム+バスルーム+洗面ルームなど
すべてカバーする「面」対応のビジネスへ

2018~

水まわりにおける住空間をインсталレーション
提案できるメーカー



「soroe」がiFデザイン
アワードとレッド
ドットデザインの
「ベストオブベスト
賞」をダブル受賞



1954
創業

日本初のシャワー付
湯水混合水栓

1967



1975

シングルレバー
湯水混合栓



1983

サーモスタット式
湯水混合栓



1989

業界初の洗濯機用水栓

2000

業界初の水道用コンセント
「シンプルレット」



2018

「toccata」



「toccata」が「JIDAデザインミュージアムセレクシ
ョンVol.19」において2017年度の選定商品となる

2024

「soroe」

デザイン水栓シリーズ



給水栓・給排水金具



キッチン用



バスルーム用



洗面所用

単水栓・止水栓



シャワー用品

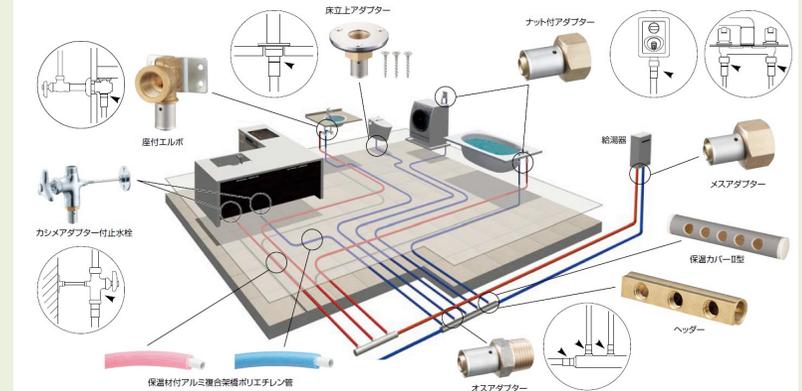


トイレ用品



継手および配管部材

給水・給湯用アルミミックスパイプ（一般タイプ）



s a n e i DESIGN

十人十色のライフスタイルに寄り添う、デザインコレクション。
インテリアそのものとしてのクオリティを備えた多様な個性が、暮らしのシーンを彩ります。

DESIGNER COLLABORATION

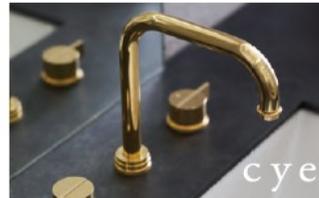
国内外で活躍するデザイナー達とのコラボレーションから生まれた、
不朽のマスターピース。



Designed by
nendo

佐藤オオキを中心に設立されたデザインオフィス。東京とミラノに拠点を持ち、建築、インテリア、プロダクト、グラフィックと幅広くデザインを手がける。

<https://www.nendo.jp>



Designed by
SUPPOSE DESIGN
OFFICE

谷尻誠、吉田愛華いる建築設計事務所。幅広い分野のプロジェクトを手がけながら、「食堂」や広島本社の移転を機に商業施設「猫屋町ビルディング」の運営もスタートするなど事業の幅を広げている。

<https://suppose.jp>



Designed by
森田恭通 YASUMICHI MORITA

GLAMOROUS co., ltd.代表。国内外へ活躍の場を広げ、インテリアに限らずグラフィックやプロダクトといった幅広い創作活動を行っている。

<http://glamorous.co.jp>



Designed by
喜多俊之 TOSHIYUKI KITA

デザイナー。プロダクトおよび、空間など、分野を超え、数多くのデザインを手がける。作品の多くが MOMAを始め、世界のミュージアムに永久収蔵。

<https://www.toshiyukikita.com/jp>

COLLECTION

WAILEA DESIGN

人と水のよりよい関係を現代空間の中で追求する、
SANEIインハウスデザインによるラインナップ。



Designed by
鈴木エドワード EDWARD SUZUKI
1947-2019

建築家。公共施設から個人邸、集合住宅まで幅広く手がけ、グッドデザイン賞、エコビルド賞など数々の賞を受賞している。

<https://edward.net>



Designed by
WAILEA DESIGN

無限に変化する水のデザイン。
morfaは水栓を“なくす”という斬新な発想から生まれました。水栓や棚のデザインを統一し、パネルで構成されたボックスの中に一体化しました。



Designed by
岩倉榮利 EIRI IWAKURA 1948-2019

家具ブランドROCKSTONEを創立。日本の伝統的な匠や現代の工業技術を暮らしの道具へと昇華。プロダクトデザイン、空間プロデュース、企業コンサルタント、人材教育まで手がける。

<https://rockstone.co.jp>



Designed by
WAILEA DESIGN

五感を満たす心地よさ。
ヨーロッパ調のシンプルで洗練されたデザインで、時間がゆっくりと流れるような、落ち着いた空間を演出します。

安全で快適な暮らしを提案

持続可能な社会において、水は生活の基本であり、QOL (Quality of Life)の要ともいえます。健康・安心を求める人々のニーズに応え、すべての人が容易にアクセスでき、快適な暮らしを享受できる製品の提案に取り組んでいます。



非接触で清潔
音声操作で清潔・快適
部屋に菌を持ち込まない

地球や環境に優しいモノづくり

モノづくりに伴う環境負荷を最小化すること。そして生活の中での水利用における環境配慮。さらには洪水や地震など災害時におけるレジリエントなシステムの提案。自然と生活に関わる企業としてその使命を果たします。



環境配慮型バルブ認定
天然素材を利用した水栓

働くよろこびとお客様や地域とのつながり

人とのつながりは企業のかげえのない資産です。誰もが働きやすい環境と活躍できる機会を確保するとともに、お客様や地域とのパートナーシップを強化して社会に信頼される企業を目指しています。



若手建築家への支援協賛
地域清掃活動

DISCOVER *in Water*

人もまた、循環の一部である

人類が豊かさを追い求めてきた結果、自然は破壊され、地球が悲鳴を上げている…環境問題が深刻さを増してきた20世紀の終わり頃からそうしたベシミスティックな世界観が世の中を覆いました。けれど人の文明は、暮らしとは、本当に地球にとって害悪でしかないのでしょうか。数々の“不都合な真実”を見る限り、人の活動が自然環境にネガティブな影響を与えている側面はもちろん否定できないでしょう。しかし人類を「自然と競合する存在」とみなすこと自体、見方によっては人間の傲慢とはいえないでしょうか。悲鳴を上げているのは地球というより、人間ではなかったでしょうか。

思えば人の営みもまた自然の摂理の中にあり、私たちの社会も含めて地球上の大きな循環=みずみちの一部を為しています。そしてかつての水田や里山がそうであるように、人が手を加えた自然は長い歳月をかけて環境を豊かにし、生物の多様性を育むことさえしてきました。相互の調和—その関係性に逆らうことなく、地球と一体となって生きること。それが、これから目指していくべき持続可能な社会への一つの答えなのかもしれません。



水をつなぐ
S A N E I 株式会社

本資料に関するお問合せ

当社ホームページ

メール

お電話

担当：S A N E I 株式会社 I R 課

<https://www.sanei.ltd/>

ir-sanei@sanei.ltd

(06) 6972-5955

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。